



vol.9

下目黒図書館の会代表  
きたみ みゆき  
北見美由貴 さん

おはなし会は  
私の宝物

プロフィール

子どもが小学生の時、学校の先生から読み聞かせをしてほしいと依頼を受けたのがきっかけで、保護者中心の図書館の会を立ち上げ、読み聞かせ活動を始める。以来、16年にわたり学校や保育園、児童館でおはなし会を開催。その中で、人形劇にも活動を広げ、自身は主に演じる役を担当。

やりがいは子どもとのつながり

保育園園庭で遊んでいた子どもたちが、興味を持ってだんだんと集まってくる。紙芝居や人形が見え隠れすると、「何だろう。楽しみだね」とはしゃぐ声も。目黒保育園での青空おはなし会の様子。主催は下目黒図書館の会。「読む絵本や、手遊びやわらべうたなどの内容によって、子どもたちの反応はさまざま、面白いものには大きく笑うし、物語に入り込んで真剣な表情になることも。おはなし会で歌ったわらべうたを帰り道に口ずさんでいたと、保護者のかたから聞くとうれしくなります」と、代表の北見さん。活動のやりがいは、こうした子どもとのつながりだという。



▲3月の青空おはなし会を行ったメンバー。今回も盛り上がりほっと一息

心に残る「おおきなかぶ」

絵本の読み聞かせから始まった活動は、子どもたちが楽しく飽きないようにと、歌や手遊び、人形劇などが加わり、バリエーション豊かになってきた。「今でも心に残っているのは、区民センターのホールで人形劇として上演した絵本おおきなかぶ。うんとこしょ、どっこいしょとかぶを引っ張るシーンでは、客席からも掛け声が合ったり、会場全体が一つになったのを感じました。子どもも大人も気持ちに通い合ったようで、本当に感動しました」と北見さん。コロナ禍で、ホール規模の活動はできないものの、あの感動を少しでも子どもたちに届けたいと、今は小規模の人形劇などの演目を模索している。

準備も本番も全部が楽しい時間

メンバーは、保護者や保護者OB・OGだけでなく、地域のボランティアも加わり、中には区外から参加するメンバーも。「みんなそれぞれ忙しいので、全員そろうのは本番だけなんてこともあります」と言うが、おはなし会の準備を見ていると、会場となる保育園の道具を借りて手際よくその場で舞台を整える。子どもがワクワクする舞台を、大人がワクワクしながらつくるその様子はとても楽しそう。「本番はもちろん、人形劇用の人形や小道具を作ったり、読む絵本を選んだりする準備の時間もとっても楽しいんです。そうした時間や子どもたちの笑顔、おはなし会のすべてが私にとって宝物です」。これからもきっと、おはなし会には笑顔があふれるに違いない。



▲青空おはなし会のために作った大型絵本と人形用のランドセル

語ろう人権 家庭で地域で



男性の育休取得を当然のことに

閩人権政策課(☎5722-9214、☎5722-9469)

男性育休の取得が進んでいる

働く人が、希望に応じて仕事と育児などを両立しやすくする、育児・介護休業法が改正されました。4年4月から順次施行され、子どもが生まれた直後に最大4週間育休を取れるようになります。分割取得も可能で、男性の育休取得が進むことが期待されています。

現在、男性の育休の取得率は過去最高の12.65%(厚生労働省「2年度雇用均等基本調査」)となり、取得率の向上が進んでいます。

一方、取得日数は7割以上が5日未満から2週間程度(平成30年度雇用均等基本調査)と短く、いまだ男性の育休取得への理解が広がっていないのが現状です。

あなたの職場の雰囲気は

職場に男性が育休を取りづらい雰囲気はありませんか。厚生労働省の2年10月の調査では、育休制度などを利用しようとした男性の4分の1が職場で嫌がらせを受け、うち4割余りは育休の取得をあきらめました。昇進や昇給の影響への不安や、育児は女性の役割との

固定観念もあるかもしれません。

男性が育休を取得しやすい職場に

改正法では、育休の取得促進は企業の責務と明示され、従業員に取得の意向を確認するよう義務付けられています。さらに、従業員1,000人超の企業には、取得状況を公表する義務も課されました。企業は、取得しやすい職場づくりを急がなければなりません。部下の育休取得状況を上司の人事評価に反映したり、育休中の仕事の引き継ぎをスムーズにする仕組みを設けたりするなど、独自の取り組みもみられます。

企業イメージ向上し、離職者も減

こうした企業には、企業イメージの向上に加え、採用応募者が増え、離職者が減るといった効果が得られます。育休取得のための業務見直しにより効率化が進み、職場内コミュニケーションが活発化するメリットもあります。

育休を終えても子育ては続きます。男性が子育てに関わり続けられる多様な働き方を認め合える社会を目指していきましょう。



Q 最近、緑が丘1丁目に引っ越してきました。目黒区では燃やさないごみの日はいつ収集に来ますか?



A 燃やさないごみは、毎週ではなく月に2回、地域によって決まった収集曜日に収集しているよ。緑が丘1丁目の収集曜日は「第1・3月曜日」なので、下のカレンダーのようになるよ。毎月最初の曜日を第1と数えるんだ。

|            | 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|------------|----|----|----|----|----|----|----|
|            |    |    |    |    |    | 1  | 2  |
| 第1・3月曜日の場合 | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  |
|            | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
|            | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
|            | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |

他の地域の収集曜日は、区印「資源とごみの収集日」(コード①)を見てね。また、区LINE公式アカウントでは、地域を登録すると収集日の前日にお知らせするよ。①



閩清掃リサイクル課計画普及係 (☎5722-9883、☎5722-9573)

ごみに関するちょっとした疑問や質問をお寄せください

ハガキ・Eメールに、聞きたいこと、氏名(ニックネーム可)、年代を書いて、広報課区報係(〒153-8573目黒区役所〈住所不要〉、☎kohobosyu@city.meguro.tokyo.jp)へ。いただいた質問などから、ゴミラスが選んで回答します。

